

苫小牧市学校給食共同調理場運営審議会議事録

平成26年7月16日（水）

13:28～14:25

市役所第2庁舎 2階北会議室

事務局 　ただ今から、平成26年度苫小牧市学校給食共同調理場運営審議会を開催いたします。

　それでは、次第の2　委嘱状の交付を執り行います。
　教育長よろしく申し上げます。

【 教育長より出席した委員に委嘱状を交付した。 】

事務局 　続きまして、次第の3　和野教育長よりご挨拶申し上げます。

【 教 育 長 挨 拶 】

事務局 　ありがとうございました。
　改選後1回目の審議会ですので、委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

【 出席した委員が順に自己紹介をした。 】

【 続いて、事務局側も順に自己紹介をした。 】

事務局 　それでは審議に入りたいと思いますが、本日の審議会は委員12名中9名の出席となっておりますので、学校給食共同調理場規則第7条第4項に基づき、本日の会議が成立している事をご報告いたします。

- * 会長・副会長の選出が終わるまで教育長が仮議長を務め、今期の会長に木村春樹委員を、副会長に関谷雅弘委員を選出した。
　以下、会長が議長となって議事進行を務める。

木村会長 　それでは、次第の6　報告事項に入ります。
　第1号　学校給食共同調理場の現況について、事務局から説明をお願いします。

【 事 務 局 説 明 】

木村会長 ただ今の報告につきまして、委員の皆様からご質問・ご意見はございませんでしょうか。

 よろしいですか。それでは、報告事項につきましては終わります。

 次に次第の7 その他に移りますが、事務局から何かありますか。

 では、委員の皆様の方から、報告以外でも聞いておきたいことがございましたら、ご意見・ご質問など何でも結構ですが、どなたかございませんか。

晴山委員 アレルギー対応についてですが、うちの息子が卵アレルギーを患ってまして、医師の指導のもとに、卵を摂取しないように生活しています。入学にあたって、給食のことも考えて、エピペン注射も処方されています。

 入学前から学校の方に何度も相談させていただいたのですが、安全面のこともあり4月・5月は給食を食べさせないで、毎日献立表を見て、材料も全て合わせて作って持参していました。6月からお米や麦茶など一部食べさせまして、7月から卵が入っている物以外は食べられるようになったところです。

 対応食が始まるということで、喜ばしいところもあるのですが、心配な面もありまして、色々と勉強をしています。本年度中に対応が決まるということなのですが、代替食や除去食といったところの方向性は詰まっていない状態なのでしょうか。

木村会長 27年度からは試行ということですが、何か方針は決まっていますか。

事務局 私ども事務局で考えているシナリオなのですが、アレルギーの対応として、まず食品を何にするかということから始まるのですが、平成23年に全校でアンケートを取った中で、全体のアレルギーの数が大体わかっていますので、その中で何を対象として提供するのか、それを除去でやるのか対応食を出すのかということ、施設の状況もありますのでそういうことを考えながらどの位できるのかを検討をしている状況となっています。

晴山委員 新聞や以前の議事録を拝見して、23年度の調査で対応食を必要としている児童生徒が267名ということでしたが、新しい人数はわかっていなくて、この数字で考えているのですか。

事務局 27年度の試行を始める時には実際の人数を確認しながら、どの位できるかという事になると思います。

晴山委員 実際にこれから始まっていっても、入学した息子が4年生になった時にようやく食べられるのか、また伸びるのかという状態ですね。

対応食に取り組んでくださったことは大変ありがたく思っていますが、今まで給食を一品一品野菜から全て取り寄せて作っていく中で感じたのが、対応食になるまで少しずつでも直ぐにできること、対応食になってからも結果的に利益になると思うのですけれども、なるべくユニバーサルな食材を使っただけだとそれが一番かなと思っています

今も原材料表をセンターさんに見せていただいているのですけれども、麺は普通ラーメンはお店で食べられないですけれども、給食には卵が入っていないので食べられるのでありがたいです。ただ、パンはナン以外食べられないとか、ラーメンベースは塩と醤油は大丈夫だけど味噌には卵が入っていて、けんちん汁の時も食べられないというところがあります。白菜スープは中学校は“カニボール”なので大丈夫なのが小学校は“カニかま”なので卵が入っていて食べられなかったのです。

そういう所を少しでも皆が食べられるものを大変だとは思いますが選んでいただくと、結果的に調理員さんの負担軽減にもなりますし、対応するための人員も減らすことができますし、100人位の卵の対応・除去食を作らなくてもいいことになると思います。

そういう所を少し考えて作っていただくと助かる子供たちがたくさんいます。プリンも卵が有ると無しのでは無しの方が安いとか、この間のココナッツプリンタルトも同じメーカーで卵の使っていない商品があって取り寄せたのですが、そういった物を使っただけだと、デザートは子供の一番の楽しみだと思いますが、それがアレルギーのある子は食べられないから奪われてしまうという結果になっているので、一緒に楽しめるようにしていただくととてもありがたいです。難しいでしょうか。

事務局 学校給食の中で、アレルギーのある子もない子も同じような形で食べられるのが一番だと思いますけど、卵の全く入れない給食を作るように言われましても、卵の食べられる子もいますし、栄養価のこともありますので、それを全部変えるというわけにはいかないのです。

重篤なアレルギーの中では“そば”は出していませんし、“ピーナッツ”も今後提供をやめようかという話になっています。そういった取り組みをしております。

全く卵を入れないということになりますと、アレルギーのない子の卵を食べる機会がなくなりますので、そこは代替が上手くいくように検討していますので、もう少し時間をいただきたいと思っています。

晴山委員 千歳のように卵を使わないというのは私もアレ？と思いますが、そこまで行かなくても少しチョイスしていただけると。卵のある日は給食当番も掃除当番も制限されています。卵が付いているということがあるので。その辺も同じような教育を受けさせることができることに繋がりますので、よろしくをお願いします。

木村会長 お子さんを持っている方こそそのご意見だと思います。卵を排除することは栄養素の関係や予算もあります。今のラーメンベースの味噌に入っている卵やカニかまの卵など、全部は無理だとしてもそういう物でも卵のない物を選択するというのも重要な良い意見だと思います。

食材を選ぶときにはなかなか大変だとは思いますが、そういう方向も検討していただければ、逆に除去食が楽になると思います。卵料理だけ代替すれば良くなりますので。そうでないと、食材に入っているかどうかまで考えると複雑になって調理の現場も大変かなというご意見だったと思います。

他に委員の方から関係することでも関係しないことでもよろしいのですが。

佐々木委員 給食費のことですが、払わないときの罰則関係が課題になると思うのですけど。

税金でやっているのだから払わなくていいのだ、という考えを持っている親が多いという話を聞くのですが、苫小牧市ではどうなのだろうかと思ひまして。

木村会長 先ほど数字が出ていたと思いますが、もう少し詳しく説明をお願いします。

事務局 平成24年度よりも2.2%収納率が上がっているというお話をさせていただきましたが、直接お会いして保護者の方と色々話をする中で、やはり経済的なことですか家庭環境の変化ですか原因が色々あるのですが、私どもが支援するということになる、生活保護の制度もありますし、就学援助という方法も経済面でいえばありますので、そちらの方に相談して

いただければ、給食費はそちらの方で対応できるという話をしながらやっています。

臨戸と言いますか相手とお話をして色々なことを伺った中で、給食費のお支払いで食材を賄っているということをお話ししながら、なんとかお支払いをお願いするというような状況で今来ています。

その中で親御さんのほうから、給食は学校・教育委員会でやっていることなので、税金でという話はないです。一番多いのは経済的状況だと思います。

色々お話をした中で今回2.2%収納率が上がったということで、親の意識もあるわけですが、しつこく何回もお話をして給食費を支払っていただいているということもありますので、こちらの方としましては、親と話をさせていただいて払っていただく形でいきたいと思っています。

佐々木委員 それでは、悪質なケースというのは。

事務局 よく悪質という話を伺います。家や車を持っていてなぜ給食費を払えないのだ。実際に話を聞きますと失業や家庭環境の変化などということがあります。相談にのりながら、少しずつでも支払っていただくようにしております。

教育長 先日（苫小牧）民報に書いてあったのですが、生活保護を貰っている方に未納があるのではないか、というコメントがあったのですが、生活保護を支給している方の給食費は100%徴収できています。そのような誤解がこの前出ていたみたいなので。校長先生などの手を煩わせていますが、そのようなことになっております。

木村会長 状況としては噂とは違って、苫小牧市としては努力をしている、というところでしょうか。

私から一つよろしいでしょうか。

アレルギー児童の数と種類のことなのですが、3月に養護教諭の方に協力をお願いしてアンケートを取ったのですが、アレルギーとアレルゲンの結果があがって来ています。養護教諭の方のコメントが幾つか有りまして、報告の信ぴょう性といいますか、実はきちんと診断を受けていない、例えば3歳位の時のアレルギーの状況がそのまま学校に報告されているケースなど、比率は分かりませんが少し不確かかなと疑問に思うような報告があるかもしれない、という懸念が先生の方からあったのが気になっています。

アレルギー対策のことでは、管理票があって、対策をとってほしい方はきちんと診断を受けて確実な情報を学校に渡すように努力してほしいとか原則・義務にしたいという話も有識者会議などで意見が出ています。

その辺は給食共同調理場の話ではないのかもしれませんが、アレルギー対策を給食調理場で取らなくてはならないのに不確かな情報では気の毒だという思いもあります。きちんと回っていけばいいなと思っています。

もちろんエピペンを持っている方などはきちんとした診断が出ていますが、注意する資源が分散されてしまっている可能性があると思います。注意しなくてもいい子も注意しなければいけない子も一緒になっている可能性を感じています。

この場で言うべきことか分かりませんが、状況を報告しておきたいと思い、発表させていただきました。

竹原委員の方から何かございませんか。

竹原委員 私どもの方（保健所）といたしましたら、年2回調理場の監査をいたしまして、今年度になりまして5月に入らせていただきました。特に施設の事では問題はないと考えています。若干、計画的に修繕していただきたい点がありますので、それにつきましては計画的にお願いします。

木村会長 他にご意見ご質問ございませんか。

晴山委員 今回の衛生管理の所で、平成25年8月の議事録を拝見して、木村会長の方から消毒保管庫の検査や食器に洗い残しが残っていないかの話がありましたが、こちらは進めていますか。

木村会長 はい、進めております。これは私からお話をします。

私は第2の方に行っていますが、コンテナホールに食器消毒保管庫が3つありまして、検査を実施しています。各段にサーモラベルという、その温度に達すると色が変わるシールみたいなのですが、85℃以上が基準なのですが、それを全部の棚に1枚ずつ置いて検査を実施しました。

一部、数段その85℃に達していない所がありました。それはその報告をしまして、そのことを把握して、使い方で十分な所を使っていただく。

まだ1回しかしていないものですから、何回か続けていくうちに、もっと信頼性のあるデータが出てくると思っています。そういうことを続けていって安心できればと思っています。

それから、食器に洗い残しがないかという検査をしまして、そういうことも情報提供をしています。検査法によってバラツキが少しありまし

て、検査方法も液を垂らして残った色で洗い残しが分かるというものだけではなくて、今は進んでいまして、綿棒みたいな物で拭き取ると、残っているとその綿棒の所の色が変わるといった検査方法がありますので、こちらの方も色々試行をしながら確実な方法を選んでいきたいと思っています。

晴山委員 今、給食を食べられるようになったのですが、食器を皆と一緒に使えないのでセンターから一組借りているのですが、それを毎朝、息子が持って行って、食べたらず持って帰ってきて家で洗って、また持っていくという状態なのですが、きっと、センターで洗浄して消毒された方が衛生的だと思うのですが。

木村会長 ただ、たんぱくが食器に残るケースもあります。食器を十分に洗ってはいるのですが、洗っていても、たんぱくはあまり残ってはいないのですが、でんぷんが少し残っているケースがあるのです。そういうことを考えると、清潔だけではなくて、微量のたんぱくが残る、卵のたんぱくが残っているとすると少し心配なので。

自分で洗う方が良いのかどうかは分かりませんが、別の食器にすることは賛成です。

晴山委員 今は仕方ないなと思ってはいるのですが、教育の機会均等ということもありますので。

(フライヤーの) 油も8回位は同じ油を使っているということでした、第2の場合には。そうすると、卵の入った物を揚げた後に入っていない物を揚げるということが起きていて、息子の場合は大丈夫なのですが、これからもっと敏感な子が出てきたら全て食べられなくなるということになるので、新しくなる時に、ろ過装置の付いたものを設置していただければ、幅が広がるのかなと思います。お願いしたいと思います。

木村会長 それはこれから検討されていく中で、十分検討するべきことの一つだと思います。私の考えですが、除去の場合は別の油を使うと思います。

事務局 施設的な関係で現在の第2センターではアレルギー対応はできません。施設的には、第1センターのアレルギー調理室で考えております。第2の方は新しいセンターでは考えていきたいと思っています。

木村会長 それまでの間、なにもしないということでもなく、検討事項だと思いません。先ほど提案のありました食材に含まれている卵、卵だけではないでしょうが様々なことを検討していただければ。

学校現場でも、ピーナッツの報告が先程ありましたが、学校の先生から私は伺ったのですが、ピーナッツをやめてほしいと先生方も一生懸命考えて行動されています。

直ぐ全部ということではなくても、少しずつでも進めていければ良いと私も思っています。

その他、何かございませんか。

初めての方も多いので、晴山委員の関係でお聞きしたいのですが。

河本委員も初めてですが、今まで聞いた感想で何かございませんか。

河本委員 うちの子は特段幸いにアレルギーに関してはなく、おいしく食べることができています。今のところは順調に来ているなと思って見えています。

木村会長 ありがとうございます。

三浦委員の方から何かございませんか。

三浦委員 子供が二人いまして、中学1年・3年生なのですが、サッカーをしています。給食を食べてそのまま部活に入るのですが、すごく食べるのです。週3回ご飯が出るのですが、力が出るというか、ありがたくいただいています。

木村会長 ありがとうございます。

全体を通して、よろしいですか。

それでは、これで平成26年度の運営審議会を終わりにしたいと思います。ありがとうございます。

審議会だけではなくて、各関係の、先生、歯科医師会、医師会、保健所、私ども薬剤師会もそうですが、様々なことで協力をお願いします。よろしくをお願いします。ありがとうございました。